

地域開放・複合化に関する他市事例（運営・仕組み等のソフト面）

No.	所在地	学校名	開放／複合施設	管理・運営
1	埼玉県 吉川市	吉川市立 美南小学校	開放：特別教室、体育館 複合：公民館、老人福祉施設、 子育て支援センター、学童保 育室	教育委員会、社会福祉協議 会、NPO 法人、市長部局
2	千葉県 市川市	市川市立 第七中学校	開放：体育館 複合：文化ホール、保育所、 ケアハウス、老人デイサービ スセンター	SPC、指定管理者
3	東京都 千代田区	千代田区立 昌平小学校	開放：屋内プール 複合：幼稚園、児童館、保育 所、図書館	教育委員会、区長部局
4	京都府 京都市	京都市立 京都御池中学校	開放：体育館、サブアリーナ、 和室 複合：保育所、老人福祉施設、 行政オフィス、民間店舗	PFI 事業者
5	三重県 松阪市	松阪市立 鎌田中学校	複合：地域交流センター（公 民館）	協働活動推進コーディネー ター、鎌中地域交流センター 運営委員会、学校支援ボラン ティア

テーマごとの事例

項目		学校
防犯・安全	動線分離	No. 1 吉川市立美南小学校 No. 2 市川市立第七中学校 No. 3 千代田区立昌平小学校 No. 4 京都市立京都御池中学校
	専用玄関	No. 1 吉川市立美南小学校 No. 2 市川市立第七中学校 No. 3 千代田区立昌平小学校 No. 4 京都市立京都御池中学校
地域交流	地域開放を視野に入れた整備	No. 1 吉川市立美南小学校
	交流スペース	No. 1 吉川市立美南小学校
	相互利用、交流	No. 2 市川市立第七中学校 No. 4 京都市立京都御池中学校
	コミュニティ・スクール	No. 5 松阪市立鎌田中学校
管理運営	学校運営の負担軽減	No. 3 千代田区立昌平小学校
	施設運営者会議	No. 4 京都市立京都御池中学校

※第 7 回策定委員会資料 5 もご参照ください。

No. 1

学校名称	吉川市立美南小学校
所在地	埼玉県吉川市
複合化施設 (延床面積)	公立小学校 (8,134 ㎡) 公民館 (299 ㎡) 老人福祉施設 (高齢者ふれあい広場) (182 ㎡) 子育て支援センター (105 ㎡) 学童保育室 (358 ㎡)
構造・階数	RC 造・地上 3 階建
整備時期	2012 年
児童生徒数	17 学級 : 525 名 (特別支援学級 / 2 学級 5 名)
施設整備の背景	美南小学校が立地する美南地区は新興住宅地であり、人口が急増している学校をはじめ既存の公共施設がないため、より広範囲の地域のニーズを踏まえ、学校とその他の公共施設との複合施設として整備した。

特徴

○管理・運営の体制

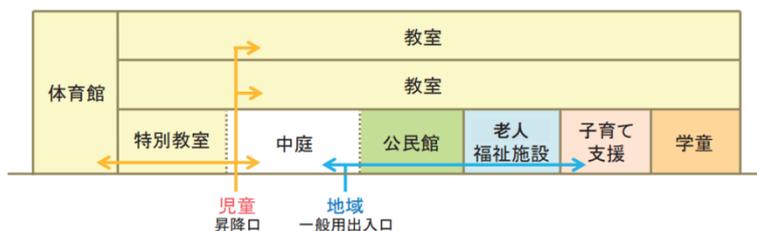
施設	利用時間 (平日)				所 管	管理・運営
	8	12	17	22		
小学校		←→			教育委員会	教育委員会
公民館		←→	←→		教育委員会	教育委員会
老人福祉施設		←→			市長部局	社会福祉協議会
子育て支援センター		←→			市長部局	NPO 法人
学童保育			←→		市長部局	市長部局

○施設の配置・動線

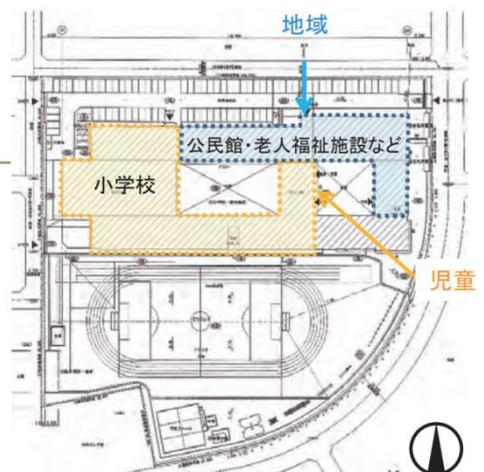
地域の利用者が利用する各施設や学校開放にも使用する特別教室は 1 階に配置し、普通教室や職員室などの諸室は 2 階以上に配置することで管理をしやすくしている。

1 階の中庭は学校と地域の利用者が自然に交流できるスペースとして設置している。

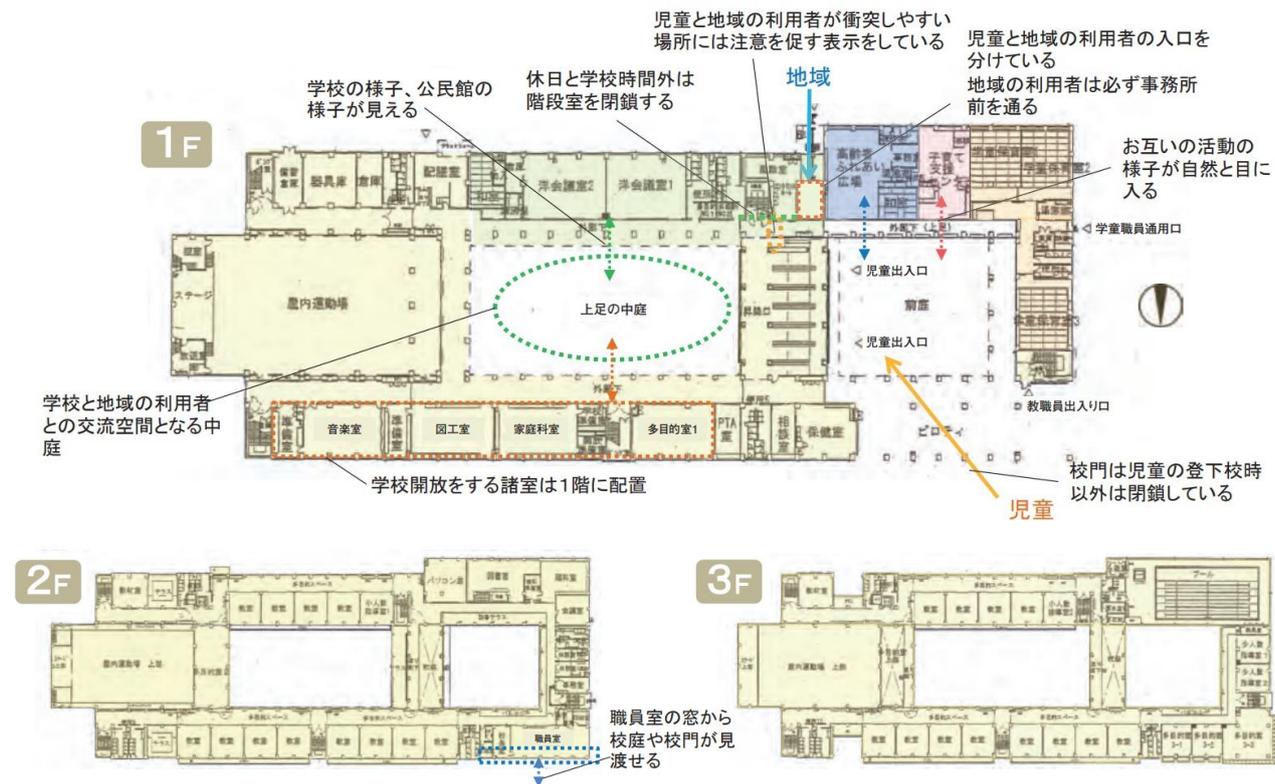
<立面図>



<配置図>



○平面計画上的特徴



○公共施設の整備

- ・新興住宅地における学校施設の整備を、その他の公共施設の整備と併せて実施
- ・地域のニーズを踏まえ、小学校を中心に、乳幼児から高齢者まで、様々な年代が利用する施設を複合化
- ・小学校の特別教室や体育館を地域開放することを前提として整備



子育て支援センター



学童保育所



デイサービスでは小学校の給食を提供



学校教育の活動時間外に体育館を地域に開放

○防犯対策

- ・児童と地域の利用者の出入口は別とし、児童が使用する校門は登下校時以外は閉鎖。地域の利用者の出入口では担当職員が受付を行っている。



地域利用者の入口には受付を設けている

[出典]

報告書「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～」H27

No. 2

学校名称	市川市立第七中学校
所在地	千葉県市川市
複合化施設 (延床面積)	公立中学校 (7,486 m ² うち給食室 474 m ²) 文化ホール (3,077 m ²) 保育所 (611 m ²) ケアハウス (2,468 m ²) 老人デイサービスセンター (393 m ²)
構造・階数	RC 造・地上 5 階、地下 1 階建
整備時期	2004 年
児童生徒数	21 学級 820 名 (特別支援学級 / 4 学級 23 名)
施設整備の背景	中学校校舎 (一部) の老朽化対策として、校舎を改築 (2003 年)。 校舎改築の計画に当たり、地域の要望があった公共施設及び需要のある保育園・老人福祉施設との複合化を実施。 工事の契約に際し、PFI 手法を導入することで、財政負担の軽減・平準化を図った。

特徴

○管理・運営の体制

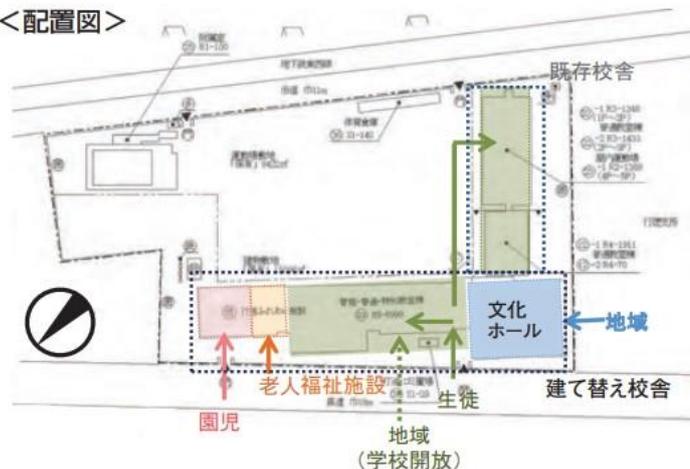
施設	利用時間 (平日)				所管	管理・運営
	8	12	17	22		
中学校	←→				教育委員会	SPC
文化ホール	←→				市長部局	指定管理者
保育所	←→				市長部局	SPC
ケアハウス	←→				市長部局	SPC
老人デイサービスセンター	←→				市長部局	SPC

- ・中学校、老人福祉施設、保育所の施設の管理は、SPC (特別目的会社) が実施
- ・文化ホールの施設の管理は、指定管理者が実施
- ・運営の管理は、それぞれの施設長が実施

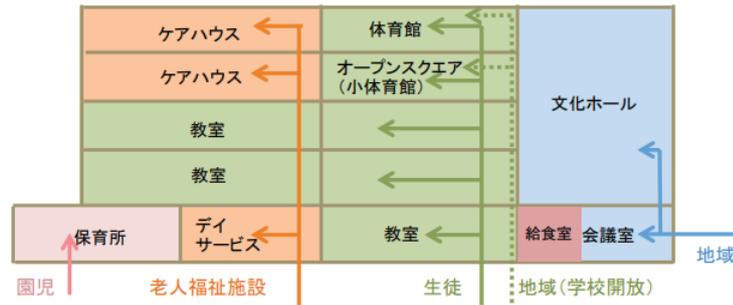
○施設の配置・動線

- ・各施設の動線を明確に区分
- ・学校教育の活動時間外の学校開放に当たっては、専用玄関を設置し、動線を明確に区分

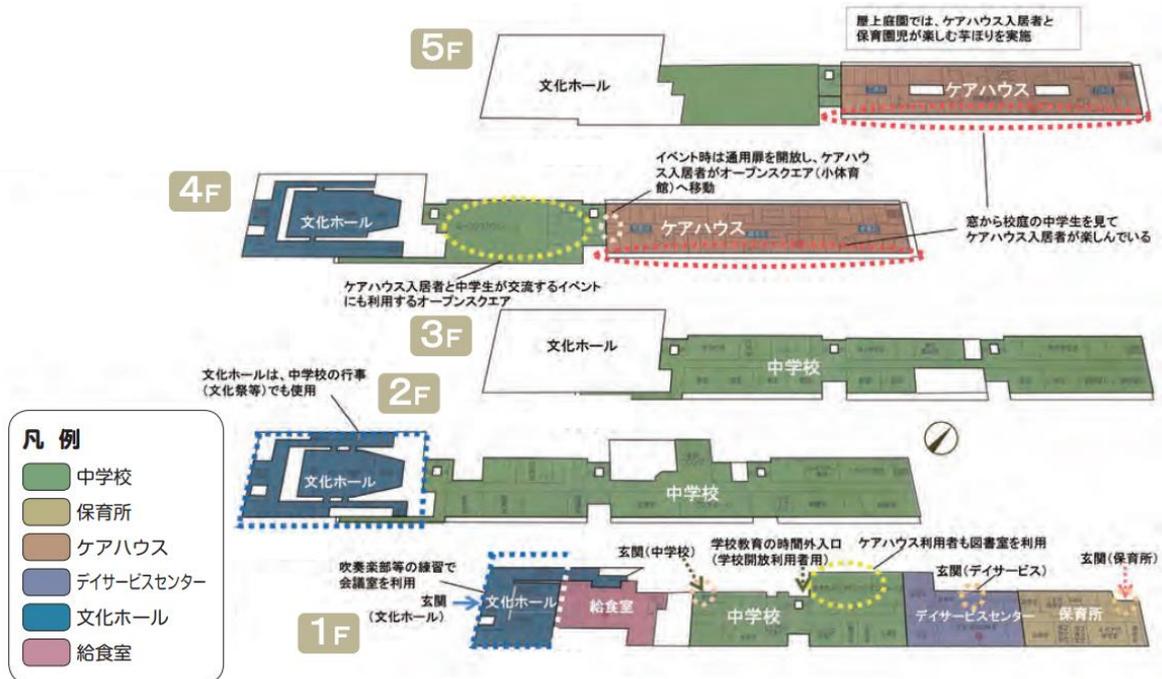
<配置図>



<立面図>



○平面計画上の特徴



○防犯・防災対策

- ・各施設を明確に区分（玄関を施設ごとに設置）
- ・施設間の連絡扉は防災訓練等における使用
→動線の分離により、防犯性を高める。緊急時には柔軟に連絡扉を開閉。



デイサービスセンター(左)保育所(右)のエンタランス(完全に独立)



施設内の連絡扉

○相互利用・交流活動

- ・園児と高齢者は、週一回合同で体操を実施
- ・屋上庭園では保育園児と高齢者の交流イベント（芋掘り）を、小体育館では中学生と高齢者の交流イベント（敬老会等）を実施
- ・ケアハウス入居者は、学校図書室を利用することも可能
→施設の一体化による近接性を有効に活用
- ・文化祭、吹奏楽部発表会等で文化ホールを利用
→学校教育にも公共施設を有効に活用
- ・避難訓練では、中学生が高齢者の避難を介助
- ・保育所では、中学生の保育実習も実施
- ・施設間の連携による防災力の向上



図書室は老人福祉施設入居者も利用

○地域の拠点

- ・市役所支所、公立図書館、公民館が隣接しており、地域の文化施設が集約された地域の拠点を形成している
→地域住民の利便性の向上・学習や文化への関心・活動機会の向上



設備の整った文化ホールでは
コンサート・舞台等様々な催しを開催



隣接する市役所支所(左)・図書館(右)

[出典]

報告書「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～」H27

No. 3

学校名称	千代田区立昌平小学校
所在地	東京都千代田区
複合化施設 (延床面積)	公立小学校 (9,057 m ²) 幼稚園 (851 m ²) 児童館 (1,388 m ²) 保育所 (243 m ²) 図書館 (188 m ²)
構造・階数	RC 造・地上 6 階、地下 2 階建
整備時期	1996 年
児童生徒数	9 学級：245 名
施設整備の背景	千代田区における厳しい土地事情の中で、学校の改築と併せて地域に必要な幼稚園、児童館、まちかど図書館を複合化した。その後、待機児童対策として、平成 24 年に施設を改修して保育所を整備した。

特徴

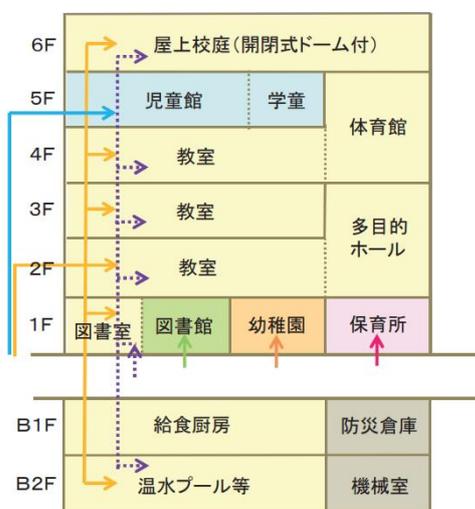
○管理・運営の体制

施設	利用時間 (平日)				所管	管理・運営
	8	12	17	22		
小学校	←————→				教育委員会	教育委員会
幼稚園	←————→				教育委員会	教育委員会
児童館	←————→				教育委員会	教育委員会
保育所	←————→				教育委員会	教育委員会
図書館	←————→				教育委員会	区長部局

○施設の配置・動線

2～4 階に学校の教室を、1 階に図書館、幼稚園、保育所を配置。敷地を有効に活用するため、校庭を屋上に、温水プールを地下 2 階に配置。児童館を 5 階に設け、学校とは別の階段・エレベーターを使用することにより、管理区分を明確にしている。

<立面図>



<配置図>



凡例

	小学校		児童館・学童		保育所
	幼稚園		学校開放		図書館

○学校と図書館の交流

- ・1階に区立図書館と学校図書室を一体的に整備しており、児童は休み時間等に図書館を使うことができる。
- ・区立図書館の司書が、週3回、学校を訪れて読み聞かせなどを行っている。
→同一施設という環境を生かし、公共施設の設備と人材を学校教育にも活用

○地域住民の利用へ配慮

- ・地域住民が使いやすいように地域の意見も取り入れ、多目的ホールや家庭科室を2階に配置
- ・地下2階に配置された学校の屋内プールを、平日夜と土日祝日に一般開放している。
- ・学校開放の際は、図書館職員が手続きを行うとともに警備員が出入りの管理を行っており学校運営の負担軽減につながっている。



2層吹抜の多目的ホールは特に地域住民に評判が良い



学校時間外に屋内プールを地域に開放

○地域の協力による公園利用

- ・地域の理解を得て、隣接した公園に門を設置。平日の午前中は幼児や児童が専用利用できるようになり、地域で安心して子供が遊べる場所が確保された。
- ・児童は2階昇降口から歩道橋を歩いて公園に直接アクセス可能。
→土地の少ない市街地において公共スペースを有効的に活用



地域住民の協力により隣接した公園に設置された門

[出典]

報告書「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～」H27

No. 4

学校名称	京都市立京都御池中学校
所在地	京都府京都市
複合化施設 (延床面積)	公立中学校 (14,197 m ²) 保育所 (1,644 m ²) 老人福祉施設 (755 m ²) 行政オフィス (1,060 m ²)
構造・階数	RC 造・地上 7 階、地下 1 階建
整備時期	2006 年
児童生徒数	19 学級 : 699 名 (御所南小・高倉小 6 年生 / 9 学級 312 名) (特別支援学級 / 1 学級 7 名)
施設整備の背景	地域からの要望による学校統合を契機に校舎を整備。京都の中心地にあり、市内でも有数の立地であることから、敷地の有効活用を図った。 学校の教育活動に貢献し、地域にも必要性の高い施設である保育所や老人福祉施設と共に、通りを活性化させる店舗 (賑わい施設) も併設した。

特徴

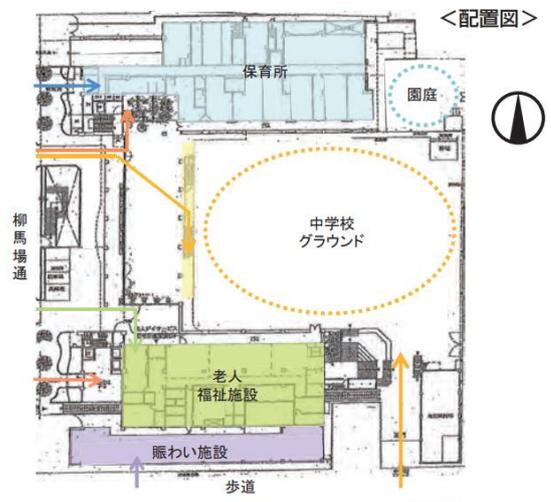
○管理・運営の体制

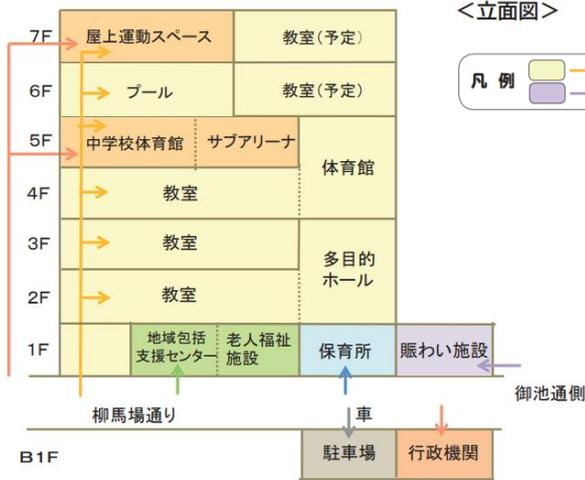
施設	利用時間 (平日)				所 管	管理・運営
	8	12	17	22		
中学校	←→				教育委員会	PFI 事業者
保育所	←→				市長部局	PFI 事業者
老人福祉施設	←→				市長部局	PFI 事業者
民間店舗	←→				PFI 事業者	PFI 事業者

- ・ P F I 事業者が施設全体の管理を行っている
- ・ P F I 事業者への施設の使用許可手続は教育委員会が実施
- ・ 保育所と老人福祉施設は、社会福祉法人が運営
- ・ 民間店舗 (賑わい施設) は、民間事業者が運営

○施設の配置・動線

- ・ 中学校のグラウンドをコの字型に囲んだ建物。
中学校はグラウンド以外 2 階以上に、その他の施設は 1 階と地下に配置され、入口や内部動線はそれぞれ異なるが、グラウンドを通して各施設の様子が目に入る施設計画となっている。
- ・ 御池通りに面する位置には賑わい施設を配置している。

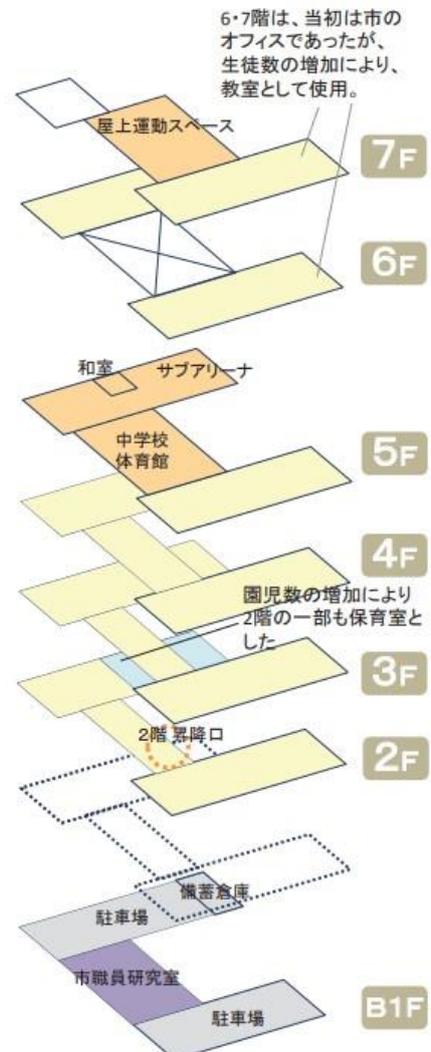
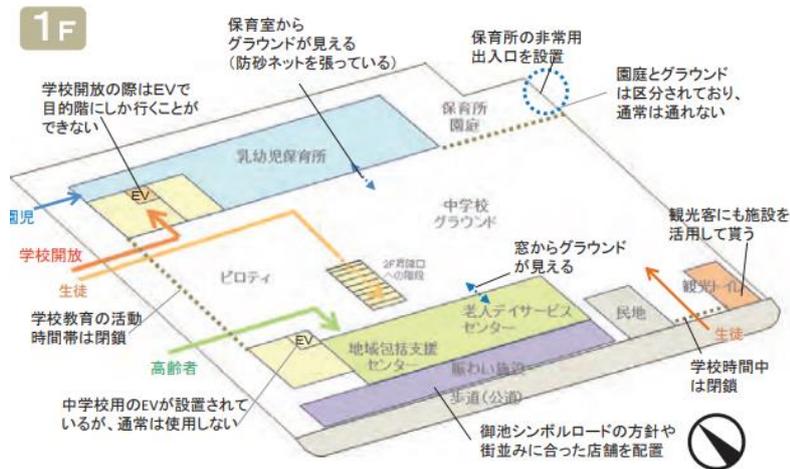




<立面図>



○平面計画上の特徴



地域の提案に基づく整備

地域が『新中学校設立推進委員会』を設立し、新しい中学校の在り方や新しい校舎施設について議論。

<地域からの提案コンセプト>

- ・ひとづくり、まちづくりの拠点施設
- ・都心部活性化、御池シンボルロードのコンセプト実現に寄与
- ・将来の人口増や少人数教育に対応した施設
- ・体験や交流等を通じた幅広い学習機会

<整備ポイント>

- ・中学校、乳幼児保育所、老人デイサービスセンター、地域包括支援センターなど、地域の教育と福祉の拠点施設とした。
- ・街のシンボルロードである御池通の活性化へ寄与する店舗の設置。

○PFI方式による整備

- ・京都市の要求水準書に基づいた、事業者からの提案により整備。
- ・従来の整備手法と比べ施設整備費が 30%削減された。
- ・隔月で実施している PFI 事業者主催の「施設運営者会議」において、各施設間の細かな調整を実施。
- ・PFI 事業者が中心となり定期的に施設全体の避難訓練を実施。
- ・修繕等のやりとりは学校と教育委員会との間だけでなく施設の維持管理を行っている PFI 事業者の意見も聞く必要がある。



賑わい施設

コンセプトを PFI 事業者が設定し、公募のうえ、京都商工会議所等と協議を行い、出店を希望する民間事業者 3 店舗を選定。

PFI 事業者と委託契約を結んでいる。

○施設間・地域との交流

- ・中学校の生徒が、保育所・賑わい施設・老人福祉施設で職業訓練を実施したり、高齢者や園児とイベントに参加するなど、利用者間の交流機会を設けている。
- ・老人福祉施設や保育所の窓からは中学校のグラウンドの様子を間近に見ることができる。
昔から住む地域の高齢者にとっても、新しい世代との繋がりを自然と感じることができる。
- ・体育館やサブアリーナ、和室等の学校施設は地域に開放している。



茶道や華道、着付けなどの伝統的な文化に取り組める和室



老人福祉施設からは中学校のグラウンドの様子が見える

[出典]

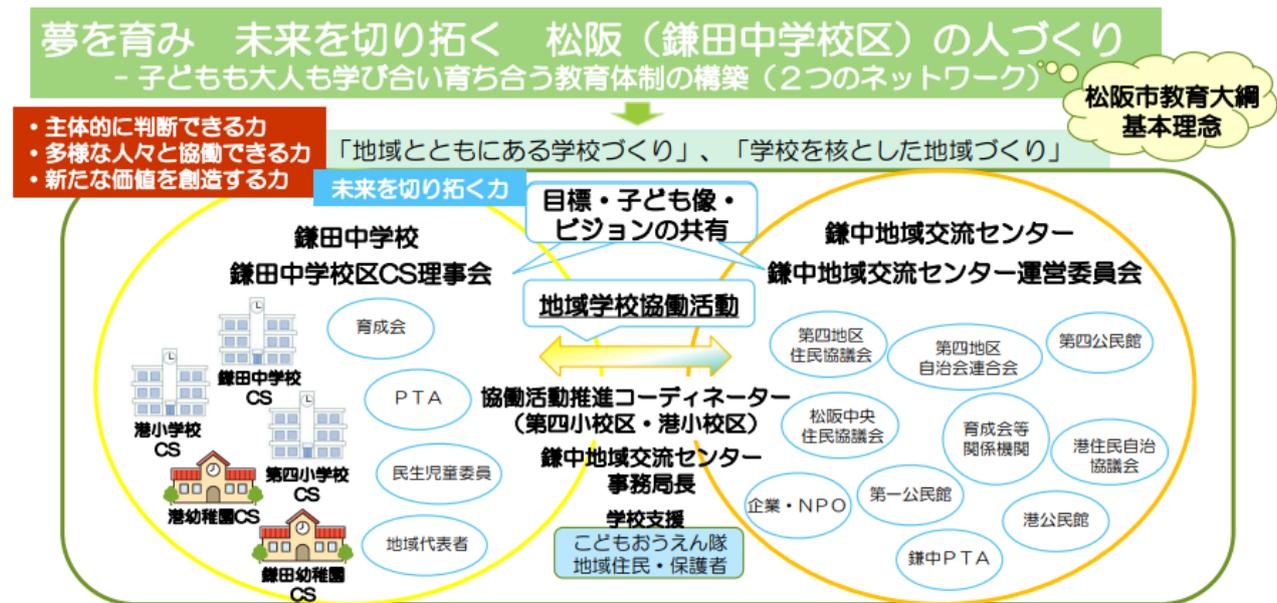
報告書「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～」H27

No. 5

学校名称	松阪市立鎌田中学校
所在地	三重県松阪市
複合化施設	公立中学校 地域交流センター（公民館）
概要	<p>鎌田中学校はコミュニティ・スクールであり、また学校施設内に複合している地域交流センターは公民館機能も有している。</p> <p>「保護者・地域・教職員の教育力の向上」を実現するために、地域住民等の学校運営への積極的な参画と、学校支援ボランティアの連携・協働を図り、地域とともにある学校づくりを進めている。ボランティアによる学習支援では、きめ細やかな支援により子供たちの学習意欲が向上している。また、登下校の安全支援等では、地域の方からの声かけにより、子供の安心・安全につながり、さらには豊かな心の醸成につながっている。</p>

地域と学校の協働

○鎌田中学校区コミュニティ・スクール取り組みのイメージ



○学校と地域との連携



鎌田祭・だいよんフェスタ

生徒有志で鎌田祭実行委員会をつくり、ステージ運営とゲームコーナーを担当しました。準備等地域の方と一緒に行いました。



大掃除

学校にあわせて、地域とPTAが校舎の大掃除を行いました。
<7月、12月、3月>



鎌田人権サークル（KHR）

KHRが学んだコロナ人権差別について地域の方々と共に、意見交換会を行いました。校区内にチラシ配布、ポスター掲示を行いました。



桜絵馬とバルーンアーチ

卒業式にむけて、幼稚園、小学校、中学校に桜の絵馬をいただきました。バルーンアーチの骨組みを作っていたり、中学生とアーチを作成しました。

○あいさつ推進運動

毎朝、校門前の横断歩道とコンビニ前の横断歩道で中学校の登校を見守っていただいています。

入学式・文化祭・卒業式など駐車場としてグラウンドを活用する際は地域の方が誘導



○鎌田祭



鎌中の恒例行事として地域と一緒に「鎌田祭」がしたい！

コミュニティ・スクール理事との意見交換会で提案してみました。



放課後、地域と一緒に準備



オープニングに中学生も参加



地域の方の手づくり「スカットボール」

○地域の方が設置



多目的のお願い表示も地域の方がつくっていただき、地域の方が書いてくれました。



私有地に駐車が多かったため、手づくり駐車場案内看板を設置



感染防止スクリーン

〔出典〕

石本建築事務所 <https://www.ishimoto.co.jp/products/5361/>

松阪市 HP <https://www.city.matsusaka.mie.jp/soshiki/72/manandakotowokatsuyousuru.html>

平成 29 年度 地域学校協働活動事例集 https://manabi-mirai.mext.go.jp/jirei/hyoushou_H29jirei.pdf